

# 法政大学学術機関リポジトリ

HOSEI UNIVERSITY REPOSITORY

PDF issue: 2024-07-28

当麻

---

當摩

14

信

とて... 是の金... 道... せ

は... 道... せ

て... 道... せ

奇... 道... せ

ま... 道... せ

海川はてらりそりあき日けらるひあ  
らぬそらしてをともをこふはるは  
かきみよれりそらそらゆりすふけ  
かりく 一念ははらば穢さを飛  
とそれらる 八百結聖教の旨あを  
そらりけら 結聖のすり 八とハ

道ひ一とらふそらゆりそらゆりあ  
らぬそら ともあまのけしとけり  
かきみよれりそらそらゆりすふけ  
かりく 一念ははらば穢さを飛  
とそれらる 八百結聖教の旨あを  
そらりけら 結聖のすり 八とハ

王都々結併の

ちいさなうぐいすのこころを  
いそいそとてぬくぬくと  
それをおぼえておぼえて  
とふふふふふふふふふ  
おのひろいんちんちんちん  
とちいさなうぐいすのこ

西ふふふふふふふふふ  
人のうぐいすのこころを  
とちいさなうぐいすのこ  
うぐいすのこころを  
とちいさなうぐいすのこ  
とちいさなうぐいすのこ





ぬきふくこれとぬふれりなり  
みよりもふまがれしなり  
はなやあつたれぬらん  
くぬらんぬらん  
しんごいぬらん  
ぬらんぬらんぬらんぬらん  
ぬらんぬらんぬらんぬらん

行見中將非はらふり  
ぬらんぬらんぬらんぬらん  
ぬらんぬらんぬらんぬらん  
ぬらんぬらんぬらんぬらん  
ぬらんぬらんぬらんぬらん  
ぬらんぬらんぬらんぬらん  
ぬらんぬらんぬらんぬらん  
ぬらんぬらんぬらんぬらん



らるべく一白ふ念はる味のちるふ入  
あふ （よ） 二一ういふげれまうてむらむ  
くしてのちるまひるすまぬれよと  
くしくふらんつとふとあはすむせ  
るる念のなれとせんせんらのの  
ゆれらまらくともうわうふ一人た

たれそつせんとあつとすうりそれのつ  
そらんまんとらんもあひふたれ  
そんてのちるれとあはむらんあり  
くへくそあつれと作れくらあふ中  
将非いふまれば 我いふれあつとふと  
あふらまうてそぬら中ふとふらま

していゝあまのほほ池はのろろあて又  
池事にあきおやもぞうふせあひふ  
まれしを我らちれしをまふあふまけり  
とのあていゝあまもていゝいづらんぬ  
してまふらんぬほほ池はあふまけり  
あせのうらむらあきこりふあしはきき

あつ神もまふらんぬあふあふあふあふ  
ふとき初らりすあらんぬあふあふ  
とあふあふけてまふマ 今あふも  
まふあふあふあふあふあふあふあふ  
あふあふあふあふあふあふあふあふ  
あふあふあふあふあふあふあふあふ

一、  
 二、  
 三、  
 四、  
 五、  
 六、  
 七、  
 八、  
 九、  
 十、  
 十一、  
 十二、  
 十三、  
 十四、  
 十五、  
 十六、  
 十七、  
 十八、  
 十九、  
 二十、

一、  
 二、  
 三、  
 四、  
 五、  
 六、  
 七、  
 八、  
 九、  
 十、  
 十一、  
 十二、  
 十三、  
 十四、  
 十五、  
 十六、  
 十七、  
 十八、  
 十九、  
 二十、

此今も布ふけくれん中將の  
 只らんたるれ少海ふあつて時せ  
 さん清去却て行くふとこくす後  
 由てふらんゆへにふのあふのたふ  
 のあるとらんかんて真如のせん  
 ふたやりふれんてむつとをさ

しててつらんまやたつめん  
 有り 天 聖御マらんくうんめん  
 六甲をを路とわまき 天 玉の  
 せんめんとくきやあつめんと  
 有り 天 聖御とあつめんと  
 此ふ清きなるふのくくんと  
 三



ひえやうけほのふれみろいふたり  
のふれ押るうさうのふれあひあひ  
とそよりふたり

守浦三巻正子

十月十日日付正子書



